

学校法人ISI学園 専門学校東京ビジネス外語カレッジ

2023年度 シラバス

1. 本講座の基本情報

科目名（コード）	医療英会話		(TCM102)
講義名（コード）	TCM_英語Ⅱ		(TCM102)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	日中医療通訳コース	単位数	2
授業担当者	Fred Ramos, MAO WANYI	時間数	30
成績評価教員	Fred Ramos, MAO WANYI	講義期間	秋学期
実務者教員		履修区分	選択
実務者教員特記欄		授業形態	講義、演習

2. 本講座内容

到達目標・目的	医療機関の事務スタッフとして求められる英語による外国人患者対応能力の向上を目的とし、英語で基本的なコミュニケーションを医療機関の受付等で行えるためのスキル修得を目指す。 なお、本講座の最終回に行われる修了試験において、学科・実技の各得点率70%以上を取得して合格した場合、一般財団法人 日本医療教育財団が認定する医療英会話技能認定を受けることができる。
全体の内容と概要	本講座は、一般財団法人 日本医療教育財団の『医療英会話技能認定申請資格に関する教育訓練ガイドライン』に基づき、学科(医療現場で必要とされる基礎的な英語の知識・表現の学習)と実技(ロールプレイング形式による英会話演習)の学習を行う。
履修上の注意事項等	医療英会話技能認定試験を行う。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。

	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

カリキュラム

回	到達目標	授業内容
1	自身の英語力を理解し、自分がこれから学ぶべき内容を説明できる	講座オリエンテーション、初回技能チェック 英会話基礎演習 (発音、基本文法、5W1H、rejoinder、body language)
2	患者に対して状況に応じた英語表現で声を掛けることができる	実技①：挨拶する、声を掛ける、質問する (患者への声掛け)
3	患者の要望や愁訴を英語で正しく理解し、適切な返答ができる	実技②：相槌を打つ、聞き返す、お詫びする、共感する
4	検査のために来院した患者に対し、英語で一通りの案内ができる	実技③：伝える、案内する(検査案内、交通案内、通訳サービス利用の説明)
5	初診、再診の患者に対して英語で一通りの受付応対することができる	実技④：確認する(初診案内、再診受付、薬に関する説明、会計に関する説明)
6	医療施設内で来院者が適切に滞在できるよう、英語で対応できる	実技⑤：許可を得る、依頼する(面会者の対応、患者への対応、災害時の対応)
7		
8	患者の愁訴を英語で把握することができる	学科①：身体部位、症状、病名
9		
10	医療施設や患者の身の回りにあるものを英語で把握することができる	学科③：診療科、検査名、医療職種、主なツール・文書
11		
12	医療施設や患者の身の回りにあるものを英語で把握することができる	学科⑥：主な医療用品・生活用品・装身具、主な院内施設・設備・備品
13	医療施設内で来院者が適切に滞在できるよう、英語で対応できる	修了試験 (学科：50分、実技：1人当たり10分程度)
14		修了試験 (実技：1人当たり10分程度)
15		修了試験 (実技：1人当たり10分程度)

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	病院スタッフのためのシチュエーション英会話
参考文献・資料等	医療通訳 (厚生労働省) https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/000385181.pdf

備考	各回は90分授業
----	----------